

富山市立山室公民館

◆事業の目的

自然体験を通じてふるさとを知る。
生命の大切さ、食べることの喜びの気持ちを育む。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月8日(日)	植物に親しもう(種や苗を植える)	地域内畑	52名
10月8日(土)	植物に親しもう(収穫・収穫したものを使って)	地域内畑	68名
11月6日(日)	ふるさとの川に親しもう(大きな川)	神通川流域	37名

◆事業の様子

☆ 植物に親しもう(種や苗を植える)

5月にさつまいもの苗と藍の種を植えた。畝にかぶせたマルチシートに小さな穴を開け、子ども達の小さな手で一生懸命作業をした。さつまいもはなじみ深い作物なので、いもほりをテーマとする本を読んでもみようというタイトルを紹介する。また楽しい収穫の日のためにおいしい料理方法を調べておくことにした。



☆ 植物に親しもう(収穫・収穫したものを使って)

残念ながら藍の葉はなめくじによって全滅してしまい、さつまいもはやや小ぶりの気配。大人の方たちにツルや葉を刈り取ってもらってから、さつまいもを傷つけないように子ども達の手で少しずつ探りながら掘り出した。ねずみやもぐらにかじられたものも多く残念だったが、収穫の喜びは大きく子ども達は歓声を上げていた。収穫したさつまいもは、その日のお昼にふかしいもと豚汁にして自然の恵みに感謝しながら皆でおいしく賞味した。



☆ ふるさとの川に親しもう(大きな川)

神通川でのサケ特別採捕と産卵場の見学を関係者のご好意により実現することができた。なぜ人工ふ化をするかという点と半分近くはサケの腹部に水が入りふ化できない、また途中で大きな魚に捕食され大きくなれるサケは少ない。そのサケを私達は食べている。生きること食べることの難しさありがたさを学ぶことができた。



◆事業の成果と課題

大人、子ども共に学んだことも多く皆で協力して無事行事を終えることができた。

来年度も続けてほしい・楽しみにしているとの声を多くいただいた。

半面課題として企画や運営を検討する会合が十分に行なえず調査や対策を念入りに出来なかった事は解決したい来年度への課題である。